

令和7年度福島県再生可能エネルギー等 事業化実証研究支援事業成果報告会

福島県は、復興の柱の一つとして、福島を「再生可能エネルギー先駆けの地」とすべく、再生可能エネルギー等の導入拡大、関連産業の集積、研究開発を進めています。また、「福島新エネ社会構想」において、国、県、関連企業などが連携して、こうした取組を加速し、エネルギー分野からの福島復興の後押しを一層強化していくこととしています。

その一環として、本事業では、県内の再生可能エネルギー等関連技術の実用化・事業化に向けた実証研究を支援しています。

この度、令和7年度福島県再生可能エネルギー等事業化実証研究支援事業を活用し、再生可能エネルギーの様々な分野で事業化に向けた実証研究を進めている県内企業の成果報告会を開催いたします。福島県内で取り組まれている再生可能エネルギー分野の実証研究について知っていただく良い機会になれば幸いです。

再生可能エネルギーに取り組む皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【日 時】 令和8年2月10日（火） 13:45～16:50

【場 所】 郡山商工会議所 5-1 会議室（福島県郡山市清水台1丁目3-8）
オンライン併用（Microsoft Teams ウェビナー使用）

【次 第】

- | | |
|--|--------------------------|
| 1 開会あいさつ | 13:45～13:48 |
| 福島県商工労働部 次世代産業課長 植田 隆太 | |
| 2 経済産業省 資源エネルギー庁あいさつ | 13:48～13:51 |
| 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課／風力政策室 課長補佐 小林 史和 氏 | |
| 3 成果報告（※発表の順序は変わる場合があります） | 13:51～16:25 |
| （成果報告 12 分（可能性調査の発表は 8 分）、講評及び講評者との質疑 9 分（3 分×講評者 3 名）、一般向け質疑応答 4 分） | |
| ① 農作物非食用部を主原料とする高効率なメタンガス養液等の開発 | ・ ・ ・ ・ ・ トレ食株式会社 |
| ② 風力発電ブレード用エロージョン対策リーディングエッジプロテクターの製品化に向けた開発・実証事業 | ・ ・ ・ ・ ・ 株式会社朝日ラバー |
| ③ 洋上風力発電設備用太径ボルトの実用化開発 | ・ ・ ・ ・ ・ 東北ネチ製造株式会社 |
| ——— < 休憩 10 分 > ——— | |
| ④ ペロブスカイト太陽電池用の直流模擬電源の開発 | ・ ・ ・ ・ ・ 日本カーネルシステム株式会社 |
| ⑤ 地産グリーンメタン製造のための移動式 CO2 液化装置の開発実証 | ・ 株式会社 I H I |
| ⑥ 陸上・洋上風力発電設備に用いるメンテナンス軽減を目的とするボルトの市場調査および開発構想の策定（可能性調査） | ・ ・ ・ ・ ・ 東北ネチ製造株式会社 |
| < 講評者 3 名 > | |
| 福島大学 共生システム理工学類附属水素エネルギー総合研究所 | 所長 宗像 鉄雄 氏 |
| （国研）産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所 | 所長代理 鹿野 昌弘 氏 |
| 福島県ハイテクプラザ | 所長 伊藤 日出男 氏 |
| 4 再生可能エネルギー等事業化実証研究支援事業制度のご紹介 | 16:25～16:35 |
| 福島県商工労働部 次世代産業課 主事 服部 日南子 | |
| 5 閉会あいさつ | 16:35～16:37 |
| （公財）福島県産業振興センター エネルギー・エージェンシーふくしま 代表 坂西 欣也 | |
| 6 名刺交換会 | 16:37～16:50 |

◆締 切 日 令和8年2月5日（木）までにお申し込みください。

◆定 員 会場：20名、オンライン：50名（各先着順、定員になり次第終了）

◆参 加 費 無料

◆申 込 先 会場参加 : <https://forms.office.com/r/2gMUKpMLWn>

オンライン参加 : <https://events.teams.microsoft.com/event/33dab902-f6fb-4725-83c0-781e5217ce7d@7a079e62-c42e-4600-a5c4-c0ef674de0a3>

◆お問合せ 〒963-0215 郡山市待池台1丁目12番地（福島県ハイテクプラザ内）

公益財団法人福島県産業振興センター

エネルギー・エージェンシーふくしま 担当：渡部

Tel : 024-959-1952 E-mail : e.a.fukushima@f-open.or.jp

